

単位：千円

番号	事業名	事業内容	仕分け結果	補正予算計上額(縮減額※1)
1	表彰・式典事業	市政に対して貢献または善行のあったかたを対象に、式典を開催し感謝状・表彰状・記念品を贈る	現状	3,340 (▲2,090)
2	新市5周年記念式典事業	市政功労者表彰式を兼ねた「新市誕生5周年記念式典」を開催する	不要	
3	渋沢栄一翁顕彰事業(生誕170周年記念講演経費)	渋沢栄一翁の生誕170周年を記念して、外部講師を招き記念講演会の開催などをする	要改善	0 (▲2,076)
4	新型インフルエンザ臨時対策事業	公共施設に配備している自動手指消毒器用消毒液カートリッジの補充、および新型インフルエンザ対策の啓発チラシを作成する	不要	0 (▲3,592)
5	高齢者入院時負担軽減支援事業	後期高齢者医療被保険者で非課税世帯のかたを対象に、31日以上入院した場合、申請により2万円を支給する	不要	0 (▲4,000)
6	地球温暖化対策事業(太陽光発電システム補助金)	住宅用太陽光発電システムの設置者に補助金(1kw当たり5万円・上限20万円)を交付する	要改善	18,000 (0)
7	敬老祝金支給事業	市民の長寿を祝い、祝金を贈る(77歳1万円、88歳2万円、99歳3万円)	不要	33,663 (0)
8	こども医療費支給事業(拡大部分)	こども医療費の対象範囲を中学生まで広げること、および窓口払いの廃止による、こども医療費の増加に対応する	現状	57,600 (▲35,481)
9	予防接種事業(高齢者インフルエンザ)	高齢者を対象とした季節性インフルエンザ予防接種の個別接種について、医療機関に接種に係る業務を委託する	要改善	84,000 (0)
10	健康なまちづくり推進事業(コールセンター)	急病時の対処方法など、健康・医療に関する市民の電話相談に医師・看護師などの専門職が24時間365日対応する業務を委託する	要改善	0 (▲6,420)
11	健康なまちづくり推進事業(笑いと健康)	笑いが健康に良いとの関係に着目し、健康落語・医師による講演・漫才などの構成で講演会を開催する	不要	0 (▲4,423)
12	花植木公設地方卸売市場管理事業	設置後35年を経過している深谷市花植木公設市場の修繕などを行う	民間	2,155 (▲2,490)
13	北部地域活性化推進事業	深谷ねぎや渋沢栄一など、地域の特色を生かしたイベントなどを実施する。主な事業費はイベントを実施する協議会への補助金	不要	0 (▲2,634)
14	道の駅管理事業	道の駅おかべ・はなぞのの駐車場不足を解消し、物産館内の販売スペースを拡張する	要改善	2,766 (▲167,114)
15	西通り線整備事業(協議会資料作成委託料)	西通り線まちづくり協議会を設置し、住民との意見交換などを行うための資料作成を委託する	要改善	1,000 (0)
16	市営住宅維持管理事業(長寿命化計画策定委託料)	築後30年以上の市営住宅について、修繕や改善の計画策定を委託する	現状	3,200 (0)
17	住宅耐震化促進事業	既存木造住宅の耐震診断、耐震改修および耐震上脆弱な住宅を解体し新築する場合の費用を一部補助する	現状	10,022 (0)
18	盛年式開催事業	市内在住の60歳のかたを対象に、式典やアトラクションを行う	不要	0 (▲2,872)
19	文化財施設管理活用事業(中の家修繕設計、旧煉瓦製造施設調査)	「中の家」の緊急修繕を行うための設計委託料と旧煉瓦製造施設の現況調査委託料	現状	1,100 (0)
20	スポーツ教室・イベント開催(マラソン大会実行委員会補助金)	「ふかやシティハーフマラソン」を開催する	現状	5,700 (0)
計(縮減額※1)				(▲233,192)

ここでは、主な仕分け理由や対応内容などの概要をお知らせします。

事業効果が不明瞭

事業効果が明確でなく対象者が限定されている。市政功労者表彰式の経費は、表彰・式典事業に規模を縮小して計上

対策は十分

備蓄は十分。補充をしても期限が来れば廃棄する必要が出てしまう。流行時には予備費で対応が可能

見直しが必要

「違った形で高齢者福祉を充実させた方が良いのでは」という意見から不要となったが、今年度は継続して実施。来年度以降、他の敬老事業と合わせて整理・見直しを検討

広域的な視点をもって

こども医療費は広域的に取り組むべきとの意見もあり、県内他市の実施状況も踏まえ、中学生までの拡大は、入院のみとした

施設管理は運営者で

現在、民間企業2社により運営されていることから、施設管理についても運営者で行えないか検討

※1 縮減額…仕分けによる縮減効果仕分け後、事業の見直しを行った結果、当初計画されていた事業費に対して縮減された額



事業仕分け結果

2億3千万円事業費縮減

厳しい財政状況の中、効率的に市政を運営するための切り口として、国だけでなく多くの自治体が事業仕分けを実施しています。

すでに広報ふかや5月号でお伝えした通り、深谷市でも4月15日に初となる「事業仕分け」を実施しました。今回は、その事業仕分けの結果と効果についてお知らせします。

事業仕分けの結果

- 4月の事業仕分けでは、20事業を対象としました。対象となったのは、6月に補正予算として計上する予定のあった事業のうち、実施内容について特に検討する必要があると考えられた事業です。
- 仕分けの結果は、次の通りです。
- 現状(現状通り実施すべき)：6事業
- 要改善(改善して実施すべき)：6事業
- 不要：7事業
- 民間(民間で実施すべき)：1事業
- 国・県(国や県で実施すべき)：0事業

事業を見つめ直し 予算へ反映

「事業仕分け」と聞くと「予算縮減」のイメージが強いと思いますが、真の目的は、仕分けを通して事業の在り方や進め方を見つめ直すことにあります。仕分けの結果が最終的に「現状」と判断されたとしても、その判断に至るまでにはさまざまな意見が交わされて

6月の補正予算について

【総額6億2,614万3千円】今年度の当初予算は、継続的事业や経常的な経費を中心に「骨格予算」として編成しました。一般会計補正予算(第1号)は、この骨格予算に政策的・投資的な経費などを追加する「肉付け予算」として編成しています。この補正予算の主な施策は次の通りです。

秋が仕分け本番

市では、今回の事業仕分けの経験を生かし、平成23年度の当初予算編成に向けて、外部仕分け人などによる公開の場での「秋の事業仕分け」の実施を計画しています。9月から対象事業の選定を行い、11月上旬をめどに実施する予定です。詳細は決まり次第、広報ふかや、市ホームページなどでお知らせします。

1 こども医療費支給事業
こども医療費の対象年齢を、入院については中学校3年生まで拡大するとともに、子ども医療費の窓口払いを廃止します。

2 議会運営事務費
本議会の様子を、インターネットを通じて配信します。

3 まちづくり振興基金積立金
市民の連携強化、地域振興の推進のため、合併特例事業債を活用した新たな基金を設置します。